

首相の消費税公約、漂流 過去2回は増税延期、今回は使途拡大 解散表明

2017年9月26日05時00分



消費税と安倍政権

安倍晋三首相は25日、消費税収の使い道を教育無償化にも広げる方針を打ち出し、解散・総選挙に踏み切る意向を明らかにした。過去2回の国政選挙では、消費増税の延期を掲げた首相だが、今回は一転、増税によってもたらされる税収を使った歳出拡大策に焦点を当て、選挙を有利に運ぼうという思惑が透ける。▼1面参照

■借金、実質増 将来にツケ

「子育て、介護。現役世代が直面する不安解消に大胆に政策資源を投入する」

安倍首相は25日の会見でこう述べ、教育無償化などの2兆円規模の政策を実施する

と強調。2019年10月の消費税率10%への引き上げで得られる5兆円超の税収の使い道を変え、財源に充てると表明した。

具体的には、保育所や幼稚園の費用について、20年度までに3～5歳児は全世帯を対象に、0～2歳児も低所得世帯に限ってそれぞれ無償化する。大学などの高等教育も一部を無償化すると表明。低所得世帯の学生に限定し、給付型奨学金や授業料減免を大幅に拡充するとした。さらに、待機児童を解消する保育の受け皿づくりの従来計画を2年前倒しし、20年度までに32万人分を確保するほか、介護職員の処遇改善にも取り組む方針を打ち出した。

巨額の財源が必要なものばかりだが、首相は「大宗(たいそう)(大半)は消費税から充たしたい」と説明した。社会保険料に上乗せして徴収する「こども保険」なども検討する考えも表明し、「安定財源」の確保に自信を示した。

だが、消費税の使い道を拡大することは実質的には借金を増やすのと同じだ。

これまでは、消費増税で増える5兆円超の税収のうち、1兆円余りを介護などの新たな社会保障の充実に充て、残る4兆円余りは既存の社会保障政策を賄う借金の返済にあてる計画だった。首相は、この借金返済分を約2兆円減らして教育無償化などに回す考えだが、そうなれ

ば、その分、返済できない借金が積み上がることになる。幼児教育の無償化の費用を、将来世代に負担させるのと同じことだ。

このため、首相自身も25日夜に出演したNHK番組で、20年度に基礎的財政収支（プライマリーバランス＝PB）を黒字化するとしていた政府の財政再建目標について、「達成するのは不可能になった」と、先送りを明言した。首相は国際会議でもPB黒字化をめざす方針を説明してきたが、「国際公約と言ったことはない」とし、新たな達成時期については「もう一度精査しながら判断したい」と述べただけだった。

■ 3党合意の理念、どこへ

もともと、首相は4年前には「消費税収は社会保障にしか使わない」と説明していた。消費税についての首相の言葉は、選挙のたびに都合よく変転してきた。

14年11月、首相は「景気が腰折れをしてしまえば国民生活に大きな負担をかける」と述べ、15年10月に予定した税率10%への引き上げを17年4月まで延期することを掲げ、衆院を解散した。自ら集めた経済学者らに増税の是非を聞く会合では、引き上げを求める意見が約7割を占めたが、当時を知る財務省幹部は「最初から解散ありきだった」。思惑通り、結果は自公の与党で定数の3分の2超を確保する大勝だった。

延期表明当時、首相は「再び延期することはない。断言する」と約束。経済状況次第で増税を先送りできる「景気条項」も消費増税法から削除し、財政健全化に後ろ向きとの批判をかわした。

その後は「リーマン・ショック級の出来事がない限り、予定通り引き上げる」と繰り返したが、16年6月、消費増税を19年10月まで再延期すると表明した。「世界経済は大きなリスクに直面している。これまでの約束とは異なる新しい判断だ」と苦しい説明だったが、同時に大型の経済対策を行う方針も打ち出すと、参院選で与党は大勝。「改憲勢力」が、衆参両院の3分の2を占めた。

そもそも消費税率10%への増税は、民主党（現・民進党）政権下の12年、自民、公明、民主の3党が合意したものだ。少子高齢化が進み、借金頼みの財政では社会保障制度を維持できないとの危機感から、与野党とも「政争の具」にせず実施する、という理念に基づくものだ。

1990年度に国の予算の2割弱だった社会保障費の割合は、いまや3割超に拡大。一方で税収は当時とほとんど変わらず、不足分を借金で賄っているのが実情だ。そのうえ、「団塊の世代」が75歳以上になる2025年には医療や介護の費用が急増する。

しかし、会見で首相は、税収の使い道を広げる話に終始した。法政大の小黒一正教授は「社会保障の安全網が崩れてきている中で、本当に困っている人に集中して税財源をあてる再編成が必要なのに、改革が全然進まない状況になっている。危機が顕在化したときにはもう遅い」と警鐘を鳴らす。

(中村靖三郎、長崎潤一郎)
